

「スカイ・クロラ」上映

押井守監督による新作アニメーション映画「スカイ・クロラ The Sky Crawlers」(読売新聞など制作)のジャパンプレミア上映が3日、東京都内のホールで開かれ、約4000人の観客が作品を楽しんだ。



上映前には、劇中に登場する闘機の大型模型と共に、押井が舞台上に登場し写真撮影をした菊地凛子さん、加瀬あやむらと一緒に全長約4メートルの機体立ち、「ここにいる皆さんは僕自身のための映画です。あいさつした。」

森博嗣さんの小説が原作で

循環型社会 北斎が案内

日本の取り組み 小冊子に

環境省は3日、江戸時代の浮世絵師・葛飾北斎を案内役に、漫画で循環型社会に向けた日本の取り組みを紹介する小冊子「北斎風循環型社会之解説」を7か国語で計約1万2000部作成し、北海道洞爺湖サミットで各国代表団や海外報道

陣に配布すると発表した。小冊子はA4判21ページ。北斎が現代に引越してきたという設定で、富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」など北斎の作品を使いながら、都市で発生したし尿を農村に運んで肥料とするなど、資源を有効活用していた江戸の循環システムを現代に通じる仕組みとして紹介している。原油などの資源投入量1トンからどれだけかの付加価値を生産できたかを示す資源生産性を3割向上させ、ごみの最終処分量を3割削

洞爺湖 サミット

「ミサイル着弾」

誤報 テスト情報消し忘れ

福井・美浜町 人為ミス重なる

先月30日に福井県美浜町の防災行政無線から「ミサイルが着弾する恐れがあります」との誤情報が出た問題で、総務省消防庁は3日、全国瞬時警報システム

「J-ALERT(アラート)」を点検中にテスト情報の消去忘れなど人為ミスが重なったことが原因だったと発表した。誤作動は今年に入り岐阜県でも確認さ

れており、システム運用の信頼性が揺らいでいる。発表によると、美浜町は当時、警報の受信装置に不具合が見つかり点検中で、動作確認のため試験用とし

減するなど、資源を大切にす循環型社会に向けた日本の目標を説明し、各国に協力を呼びかけている。

同庁は「今回は人為的なミスで、システムには問題がなかった」としているが、美浜町には原子力発電所があり、町住民安全課による「原発が狙われたのか」

と不安を感じた。本来、点検後に装置を再起動させる際には入力情報を消去する必要があったが、総務省消防庁側から指示がなかったため、これを行っていなかった。

換気

飲食店の換気装置で換気を怠ると、炭素(二酸化炭素)が中々となら。経済省・保安院は、に注意を喚起。食店経営者「ガス機

教育テレビ 深夜一部休止へ

NHKは地球温暖化防止対策の一環として、今秋をめどに教育テレビの深夜放送の一部休止の検討を始めた。

NHK 今秋から

2時間半繰り上げ、午後11時から翌日午前5時まで停波する

「死に神」朝日コリウム

オウム被害者も抗議

令した鳩山法相を「死に神」と表現した朝日新聞夕刊一面の素粒子欄について、地下鉄サリン事件被害者の会代表世話人の高

抗議書

計13人の死刑執行を命

ようにな